

広報

# ただみ

7  
2016 月号  
No. 554  
平成28年7月10日

## 都会から若者の力!!只見町地域おこし協力隊



### 今月の表紙

今月の表紙は、目黒町長と只見町地域おこし協力隊の4名です。6月に協力隊4名全員が揃い、目黒町長と協力隊の対談を6月17日に季の郷湯ら里で行いました。只見町に来た若者「地域おこし協力隊」と目黒町長の対談を特集で紹介します。

【関連記事2～5ページ】

### <特集>

地域おこし協力隊と只見の未来をつくる……………2～5

### <News&flash>

只見線×六角精児さん「只見線縁結びライブ」／

奥会津学習センター増設工事開始 ほか……………6～9

### <町の話>

第2回 只見雪むろまつり／

「蒲生岳・会津朝日岳・浅草岳」山開きイベント ほか……………10～11

只見町に若者の力！

# 地域おこし協力隊と只見の未来をつくる



▲6月13日、辞令交付式が行われ、4名の協力隊が初めて揃いました

4～6月、役場町長室において新たに「地域おこし協力隊」として迎えることになった3名の辞令交付式が行われました。皆さんは「地域おこし協力隊」をご存じでしょうか。今、地方創生が叫ばれるなか、都市部に住む人の中には「地方で生活したい」「自然と共存したい」など様々な理由で「地方」に注目している人たちがいます。そのような思いを持った都市部の方が、地方に移り住み活動できる制度を「地域おこし協力隊」と呼びます。町では今年度、新たに3名の協力隊が加わり、現在4名が活動しています。今回は、只見町で活動している4名の「地域おこし協力隊」の皆さんをご紹介します。

## ◆地域おこし協力隊とは

「地域おこし協力隊」とは人口減少や高齢化などの進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行うてもらい、地域の活性化を図る制度です。任期や内容は地域の実状に合わせてさまざまです。平成21年度から総務省の政策として始まり、平成27年度には全国で2,625人が活躍しています。注目していただきたい数字として、総務省で実施した地域おこし協力隊定住状況等調査によると、任期終了後における隊員の約6割は引き続き同じ地域に定住

しており、同一市町村内に定住した隊員のうち約2割の方が起業しているというデータが示されています。地域おこし協力隊制度は、地域の活性化やまちおこしだけでなく、地域の方々や風土にふれあうことにより愛着と信頼関係が生まれ、そして定住に繋がっていると思います。

隊員の任期は、1年契約で最大3年まで更新することができ、その後は新たに起業したり、現在勤務している会社の従業員として働いたりさまざまですが、町では隊員の任期中に、将来どの道に進みたいのか隊員と計画をたてながら安心して定住できるようにサポートしていきます。

# 只見町「地域おこし協力隊」

只見町で「地域おこし協力隊」制度を活用したのは平成26年度からです。当初隊員は1名でしたが、平成28年6月には4名になりました。4名の各隊員を紹介します。

## 隊員紹介

おおたけ こうへい  
**大竹 康平さん (21歳)**

活動先／「空家活用促進隊」として明和振興センターで活動  
空き家バンク事業を担当

前住所／栃木県宇都宮市(出身／群馬県吉井町)  
前職／現在、宇都宮大学国際学部国際社会学科3年生(休学して協力隊へ)

### ◆協力隊応募理由

大学のサークル活動で布沢区を訪問しており只見に興味があった。町観光まちづくり協会のツイッターで「協力隊募集」を見て応募。観光にも興味があったが、只見に住んでみたいという思いから「空家活用促進隊」で活動。

### ◆目標

空き家バンク設立と、個人的に明和地区で1000人と知り合うこと!



新協力隊  
(4月から)

すえや こうだい  
**末谷 広大さん (29歳)**

活動先／「教育振興協力隊」として町教育委員会で活動  
只見高校への山村教育留学事業を担当  
前住所／静岡県熱海市(出身／宮城県白石市)  
前職／(株)鈴乃屋で呉服関係の小売商社を約5年経験

### ◆協力隊応募理由

もともと教育関係に興味があり、いわき明星大学で教職課程を履修し教員免許を取得。町山村留学制度に関心があり協力隊へ応募。

### ◆目標

「町山村教育留学制度・只見高校の魅力化」の為に、①学習センターの寮生会を立上げ、生徒主導の自治を行う。②留学生農園(T.S.farm)の立案と地域貢献活動。③語学レベル向上にALT英会話講座の立案。④只見高校留学生の募集活動。



協力隊  
3年目

はしもと たくま  
**橋本 拓馬さん (23歳)**

活動先／「観光振興協力隊」として会津ただみ振興公社で活動  
アウトドアインストラクター担当

前住所／神奈川県横浜市(出身／福島県本宮市)  
前職／(株)キタセキでガソリンスタンド店員を経験

### ◆協力隊応募理由

趣味がアウトドアで、大好きな只見町には100回以上来ていた。只見町で「衣・食・住」をしたいと思い始めたのは20歳の時。そんな中、只見町で「観光振興協力隊／アウトドアインストラクター」を募集しているのを知り応募。

### ◆目標

誰にも負けない「挨拶・礼儀・笑顔」で、アウトドア活動を行っていききたい。



新協力隊  
(6月から)

やましな まい  
**山科 麻伊さん (27歳)**

活動先／「観光振興協力隊」として只見町観光まちづくり協会で活動  
観光インストラクター担当

前住所／山形県新庄市(出身／山形県新庄市)  
前職／東京で観光バスガイドや山形で学習支援員(英語・数学)を経験

### ◆協力隊応募理由

クリエイティブに活躍する全国の地域おこし協力隊を見て、自分もやってみようと思った。東北が大好きで、よく知っている南東北で探していたところ只見町の募集を発見。只見町の地域活性化への思いに感動し応募。

### ◆目標

“只見から「地方繁栄」を発信する!”を目標に皆さんと一緒に創りたい。



新協力隊  
(5月から)

ようこそ！只見町地域おこし協力隊！

目黒町長

# 目黒町長と語る地域おこし対談

協力隊



▲「教育振興協力隊」末谷 広大さん  
活動先/町教育委員会

▲目黒 吉久 町長

6月17日、季の郷湯ら里において、目黒町長と地域おこし協力隊による対談が行われました。只見町のことについて、外からの視点で意見交換がされました。

## ---意見交換---

### ◆町の印象について

町長..只見町の印象はどうですか？

末谷..良い意味で「何もない」只見町は、町外から来た只見高校に通う山村教育留学生の学習環境として理にかなっていると思います。「何も無い」からこそ生徒達でやりたいことを創り出せる。しかし、高校生（山村教育留学生）と町民との関わり合いが非常に少ないと感じています。

大竹..サークル活動時代から思っていました。人が「人がすごく良い」と改め

て思いました。よそ者の自分を受け入れてくれ、おかずを貰うことが多くなり、本当にありがたいです。山菜が好きで、ごみものじゅうねん和えがおいしかった。元々布沢集落の方々は知っていました。小林の若い人、子どもが多さを知り驚きました。集落の方々には自分が住んでいる集落に誇りを持っている人が多いと感じました。

山科..只見町は、人が優しく面倒見が良いと感じました。誰にでも挨拶を必ず返してくれるし、東京や地元の新庄市ではありえないことです。星が美しく、只見川の朝もや、ブナの新緑には心から感動しました。野菜が美味しと思います。私はトマトが嫌いでしたが、先日

トマトを沢山もらったので食べてみたら、「トマトってこんなに美味しかったつけ」と思えるほど只見のトマトは美味しかったです。好きになりました。

橋本..先日田子倉レイクビューにドライブに行ったとき、人生初のフクロウを生で観て感動しました。地元の人にはありふれた風景かもしれませんが、外から来た人には感動的な風景です。この自然首都・只見のありふれた素晴らしい景色を外へ発信していきたいです。

### ◆町長×末谷

町長..山村教育留学生制度を担当して難しかったこと、やってみたいことは？

末谷..土日は外に出てこない生徒が多く、寮がご飯



▲「観光振興協力隊」 橋本 拓馬さん  
活動先／会津ただみ振興公社



▲「観光振興協力隊」 山科 麻伊さん  
活動先／只見町観光まちづくり協会



▲「空家活用促進隊」 大竹 康平さん  
活動先／明和振興センター

を食べて寝る場所にな  
っていました。せつか  
く只見に来たのだけ  
ら、只見の良さを感じ  
て卒業して欲しいと思  
い、留学生と何をやっ  
てみたいか相談しまし  
た。その中で出た意見  
が、只見駅裏の耕作放  
棄地になっている畑で  
「留学生農園」をやっ  
てみたいということだ  
した(詳しくはP7)。今  
では生徒が自発的にゴ  
ミ拾いしたいなどの意  
見を出し合い地域の役  
に立つよう活動してい  
ます。また、今後金山町  
の川口高校の寮生との  
交流や、山村教育留学  
生の卒業生による只見  
会のようなものを創  
り、生徒が充実できる  
環境にして行きたいと  
思っています。

◆町長×大竹

町長.. 只見に来て約3ヵ月、  
空き家バンクを担当し  
て難しかったこと、や  
つてみたいことは？

大竹.. 集落によって温度差が  
あることが分かった。  
空き家バンクは集落の

方々の協力が必要なた  
め、簡単にはつくれな  
いことの難しさがあり  
ます。自分は協力隊の  
任期が1年間という短  
い期間なので、「たく  
さんまわる、たくさん  
話す、たくさん食べ  
る、たくさん笑う」を  
モットーに、集落の状  
況を把握し、人の繋が  
りを大事にしていき  
たいです。

町長.. 大学を休学してまで只  
見に来たのはなぜ？

大竹.. 理由は只見に住みたい  
という思いがあったか  
ら。大学の友達も休学  
しているの、自分の  
中で休学に対する抵抗  
はなかったです。

◆町長×山科

町長.. 観光まちづくり協会で  
の仕事と抱負は？

山科.. 仕事では、町民や観光  
客と触れあい毎日刺激  
的に過ごしています。  
只見町はゆったり流れ  
る感じがありますが、  
現場は地域活性化のた  
めに、また自然首都・  
只見に誇りをもってが

んばっているのが分か  
ります。自分も協力隊  
という立場から外から  
の目を忘れずに、只見  
町の良いところを沢山発  
見して、情報発信して  
いきたいです。

◆町長×橋本

町長.. 何故只見町の協力隊に  
なりたいたと思つたか？

橋本.. 自分はアウトドアが好  
きで、その一番の影響  
が「北の国から」です。  
自然首都・只見は、24  
時間のコンビニもない  
ですし、この不便さが  
逆に好きになり、只見  
で「北の国から」をやっ  
てみたいと思うようにな  
ったのがきっかけで  
す。若いうちに協力隊  
にチャレンジしたいと  
思い応募しました。

対談は約90分間、町長と  
協力隊の熱い意見交換は続  
きました。協力隊のメンバ  
ーは、私達にはない視点と  
感性で活動に取り組んでい  
きます。

只見大好き協力隊4名を  
今後とも宜しく願いま  
す。

# 「只見線縁結びライブ」開催

JR只見線利用促進実行委員会主催の「六角精児バンド」「只見線縁結びライブ」が6月11日、JR只見駅前広場で開かれ、約600人の方々が来場されました。

鉄道ファンで知られる俳優「六角精児」さんは、全国のローカル線の中でも只見線をこよなく愛しており、平成26年7月には、東京の大手町サンケイビルにて、今回も司会として参加した、同じ鉄道ファンのお笑い芸人「ダーリンハニー吉川」さんと「只見線トークイベント」を開催した経過があります。その後、六角さんから「いつか只見駅かその周辺でライブをやりたい」との話から、今回の「只見線縁結びライブ」が実現したものです。



▲「この広い宇宙のかなたで／八代亜紀さん」やオリジナルソング「只見線の歌」を熱唱する六角精児さん(右)と江上徹さん(左)



▲到着するJR只見線に手を振る六角さん、ダーリンハニー吉川さん、来場者の皆さん

ライブは、六角さんのバンドメンバーである「江上徹」さんと2名で行われ、只見線にささげる新曲「只見線の歌」をはじめ、10曲以上を披露しました。お二人のアコースティックギターを弾きながらの熱唱に、会場は大いに盛り上がりました。

イベントの途中では、只見線や代行バスを、六角さんや来場者とともに、手を振りお迎えとお見送りをしました。ライブ終了後には、「六角精児バンド」のCD販売とサイン会も行われ、売上の一部を只見線の活動にご寄付いただきました。

また、会場内では熊本地震への募金



▲会場が盛り上がった「ダメじゃん小出」さん(右)の大道芸

活動も行いました。これは、「第41回只見ふるさと雪まつり」で、町の復興を願い、チャリティーとして雪まつりへ参加し、温かいエールを送っていたいただいた歌手「八代亜紀」さんの出身が熊本県であることから、只見町から八代さんの出身地の熊本県を応援する為、イベントの中で募金活動を行ったものです。この活動に対して、八代さんから「6月18、19日に熊本で慰問コンサートを行うので、只見町の募金を直接現地へ持っていきます。」とご本人の音声メッセージが届けられ、会場で披露させていただきました。

その他、会場内では、トランポリン、ミニSL乗車、バランススクーター体験など多彩なイベントや大道芸人「ダメじゃん小出さん」の只見線にちなんだ楽しい大道芸が披露され、訪れた来場者を楽しませてくれました。



▲只見線を利用して町外からも多くの方がイベントに訪れました



▲熊本募金をPRする六角さん(左)とダーリンハニー吉川さん(右)



▲子ども達に人気だったミニSL乗車体験、この日は約250名が乗車しました

伝承産品ブランド化支援事業

平成27年度の成果を発表

5月31日、町役場会議室において、平成27年度「自然首都・只見」伝承産品ブランド化支援事業の成果発表会が行われました。

この事業は、町における伝承産品の振興を目的としており、伝承産品の技術伝承、開発、販売を行う町内事業者に対して、1件につき30万円以内で支援をしています。

平成27年度は、11事業者が商品のパンフレットやパッケージの作成、伝承技術習得の勉強会などに活用し、その成果を発表しました。今後、商品化されたものに関しては、「自然首都・只見」伝承産品認証委員会の審査を受け、晴れて認証された商品はブランドシールなどを貼り販売されます。



▲写真は平成27年度参加事業者の皆さん

町では平成28年度参加事業者を集集しています。詳しくは総合政策課地域振興係まで。(☎82-5220)

ユネスコエコパーク関連事業

「ただみ豪雪林業体験・観察の森」整備事業を実施

6月5日、豪雪地帯に適応した森林管理技術の開発とその普及、そして体験を図ることを目的とした「ただみ豪雪林業体験・観察の森」(体験の森)の整備事業が行われました。

国有林の職員10名と町内から3名のボランティアが参加し、作業道の設置、簡易測量、毎木調査(樹種や幹回りの大きさを測定する調査)が実施されました。また、当日は本事業に資金協力をいただいている、野村総合研究所から4名の方が視察に訪れました。今後は、調査結果に基づき森林管理の方針が検討され、具体的な施業が計画される予定です。



▲▶体験の森の前で町長とボランティアの方々による記念撮影と毎木調査の様子

ふるさと只見会

只見町を訪問

首都圏などの都市部に在住している只見町出身者などで構成される「ふるさと只見会」一行16名が6月4〜5日、只見町を訪問しました。

今回の訪問は、ユネスコエコパークに認定された只見町と、国道289号八十里越道路工事区間の視察が目的で、昨年11月に東京で行われたふるさと只見会の集いの中で決定したものです。

ふるさと只見会の皆さんは、目黒町長や観光商工団体の方々との交流会を行い、「癒しの森」、「国道289号八十里越道路工事区間」、「河井継之助記念館」、「塩沢山菜まつり」などを視察しました。

ふるさと只見町を思い集まった「ふるさと只見会」の会員は、現在約500名。今回の視察を通して確認した、只見の素晴らしさを広く発信していきます。



▲癒しの森をトレッキングしたふるさと只見会の皆さん

只見町山村教育留学生

「留学生農園」で苗植え

6月12日、只見高校に通う町山村教育留学生が、只見駅裏の畑「留学生農園(T・Sファーム)」に、農作物や向日葵の苗植えを行いました。

この活動は、耕作放棄地の畑で農作物を育て、収穫した野菜を只見駅構内の売店で販売する取組みで、3年前から始まりました。販売した売上は、留学生で構成される寮生会の運営費にあてられます。

この日は、留学生5名と町教育委員会2名により、きゅうり、ナス、とうもろこしなどの作物の苗が植えられました。また、只見線などで来町される方々に楽しんでもらえるよう向日葵の苗も植えられました。

留学生は、「駅近くに来た際は、ぜひ見て欲しい」と話していました。



▲暑中元気に苗植えをする山村教育留学生5名

## 山村教育留学生の受入を強化

# 奥会津学習センター増設工事開始

只見高校に通う山村教育留学生の寮「奥会津学習センター」増設工事が6月に着工となりました。新奥会津学習センターの完成は平成29年3月下旬を予定し、同年4月から只見高校新入生の受入を開始し、合計60名の受け入れが可能となります。

現在、学習センターの定員数は40名。ここ数年山村教育留学生に応募する生徒が増え、学習センターの受入容量が足りていないという問題があります。平成28年度山村教育留学生は、新入生14名を含め1年〜3年生全体で45名です。学習センターで受け入れできない留学生は下宿で受け入れられています。



▲奥会津学習センター完成予想図。同敷地内に増設されます

そこで町では、町外から留学生の受入をさらに強化し、入学生数の増と他地区の生徒との交流をさらに広げる為、留学生の受入の拡充を図る増設工事を行っています。

平成28年度の只見高校の生徒数は全校生115名、うち留学生は45名で全体の約4割を占めています。

只見高校を存続させる為には、入学生を増やさなければなりません。只見高校においては、入学者が定員の半分以上(定員は70名。半分以上は35名以下となる)が3年連続と「分校化」となり、さらに3年連続で定員の半分以上を割ると募集停止となり「廃校」になります。

只見高校では平成24年度に34名の入学者となり、分校化に足を二歩踏み入れた状況になりました。もし廃校となつた場合、中学校を卒業した生徒は、町の高校へ通学や下宿などをしなければなりません。町民の経済的負担は大きくなり、子育て環境が悪い町となることが懸念されます。そして何より、町から全ての高校生が町外へ出て行ってしまつたら、地域活力は著しく低下し、人口減少が加速するものと予想されます。絶対に廃校は避けなければなりません。以上のことから受け入れを強化する為、奥会津学習センターは増設工事を行います。

## 明和地区7集落の人口ビジョン

# 地域おこしを考える会を開催

明和自治振興会主催の「7集落の人口ビジョンから地域おこしを考える会」が6月11日、明和振興センターで行われ23名が参加しました。

講師に鳥取環境大学の倉持裕彌准教授を迎え、過疎対策の先進地である鳥取県の取組みを紹介していただきました。倉持准教授は、研究の中で考察した「集落創造シート」を活用し、明和7集落の人口ビジョンを説明。約20年後には、集落の人口が半減してしまうと予想されましたが、「一番重要なのは人口減少する集落の地域活性化であり、その為の取組みについて鳥取県を事例に紹介していただきました。

最後に参加者を交えた活発な質疑応答があり、集落の活性化に繋がる講演会となりました。



▲取組みを紹介する倉持准教授

## 町内3小学校で

# 人権の花運動を実施

町内3小学校で、「人権の花」運動が行われ、人権擁護委員(山内妙子さん、鈴木厚さん、渡部等さん)の皆さんと一緒に児童達が人権の花を植えました。

この取組みは、花の種子などによって、児童達が協力し育てることによって、生命の尊さを実感しその中で豊かな心を育み、優しさと思いやりの心を体得することを目的としたものです。植えられた花は、今後近隣の施設等に配布する計画です。人権擁護委員の皆さんは児童達に「人権という種をまきましよう」とお話しされました。今回の取組みによって、子ども達が人権について学ぶ良いきっかけとなりました。



▲(写真:朝日小学校)人権擁護委員の皆さんと一緒に心を込めて花を植えた児童達



## 荒井原納税貯蓄組合に 知事から感謝状

荒井原納税貯蓄組合に

6月7日、福島県文化センターで開催された福島県納税貯蓄組合連合会第50回定時総会において、荒井原納税貯蓄組合が優良納税貯蓄組合として知事感謝状の贈呈を受けました。

優良納税貯蓄組合の選考基準は、組合員数が15人以上で活動年数が15年以上であること。そして県税の納期内納付率が優良であり、組合運営が他の組合の規範であることなどがあり、荒井原納税貯蓄組合の、日頃の地道な活動が評価されました。

表彰式には、荒井原納税貯蓄組合長の目黒周子さんが参加し、感謝状の贈呈を受けました。おめでとうございます。



▲知事感謝状を受ける目黒周子さん

## 町内3小学校の修学旅行 東京上野で只見町をPR

町内3小学校の修学旅行

6月8〜9日、町内3小学校の6年生29名は、東京方面へ修学旅行に行き、その修学旅行の中で只見町のPR活動を行いました。

今年3小学校合同でPR活動を行い、町のパンフレットの他に児童達がい、町のパンフレットの他に児童達を込めて作ったパンフレットを付けて渡しました。

児童達にとって東京で知らない人に声をかけることは大変なことでしたが、一人一人が勇気を出し声をかけ一生懸命に町をPRしました。中には忙しそうに断られるときもありましたが「今度只見に行ってみるからね」などと、児童達を応援する言葉もありました。児童達は「ありがとうございました」とお礼の言葉を伝えるとともに、一生の思い出になりました。



▲(写真:明和小学校) 一生懸命只見町をPRする児童達

## 只見中学校 ブリテイッシュ・ヒルズで語学研修

只見中学校

福島県天栄村にある語学研修施設「ブリテイッシュ・ヒルズ」において6月14日〜15日、只見中学校の1年生30名と2年生30名が、英語の語学研修を行いました。今回の研修は「南会津学習サポート事業」の一環で、生徒の語学力向上を目的に、1年生は日帰り、2年生は1泊2日で行われました。

ブリテイッシュ・ヒルズの公用語は全て英語で、イギリス出身などのスタッフが英語で対応します。生徒達は、自分が知っている英語に身振り手振りで相手とコミュニケーションをとっていました。

研修後に行われたライブ授業では、ブリテイッシュ・ヒルズでお世話になったブルック先生が訪れ、生徒達は英語でコミュニケーションを図っており、生徒達の中で英語が身近になったように感じました。



▲英語でコミュニケーションを図る生徒達

## 只見小学校で 水墨画の授業

只見小学校で

6月24日、銀閣寺などで水墨画の講義をされる日本美術史家の高橋範子先生が、只見小学校で水墨画の授業を行い、全校生が参加しました。

今年で3年目となるこの授業では、始めに「雪村」の本物の絵を見ることが始まり、描き方や筆の動きを高橋先生に教えて頂き、その後低学年は岩の絵、高学年は梅の木を描きました。高橋先生は「筆一本で色んな描き方ができるので、描き方・リズムを自分で考え表現して下さい」と児童達に目標を掲げましたが、今年で3年目を迎える児童達は、水墨画特有の「ぼかし・かすれ」を上手に表現し、高橋先生を驚かせていました。

高橋先生は「只見の山は雪村の絵にある山に似ており、只見の自然が大好きです」と穏やかな言葉と大らかな笑顔で教えてくれました。



▲高橋先生と高学年の児童達 水墨画3年目の実力を発揮しました

## 「蒲生岳」・「会津朝日岳」・「浅草岳」 只見ユネスコエコパークの山開き開催!!

6月は只見4名山の内  
3名山の山開きが  
行われたよ!!



蒲生岳(6月5日)約220名参加



会津朝日岳(6月12日)約250名参加



浅草岳(6月26日)約200名参加



只見町の山開きが各々行われ、今年も多くに登山者が山を楽しみました。今年は雪が少なかった為、山頂付近ではいつもと違う景色を見ることができました。

明和小学校4年生の山内ひかりさんは、蒲生岳・会津朝日岳を登頂しがんばりました!(写真:会津朝日岳 右上)

登山者は下山後、振る舞いの冷やし甘酒などを飲んで疲れを癒しました。そして「また来年も参加します!」と山を後にしました。



## 親子で楽しい カルガモクラブ「運動会」

▲ブナりんも参加し、盛り上がりを見せたカルガモクラブ運動会

6月19日、町下体育館でカルガモクラブ「運動会」が行われ、14組50名が参加しました。開会式で齋藤教育長は民生児童委員の皆さんへ協力のお礼と、参加したお父さんへ「子育てを手伝うお父さんを「イクメン」と呼びますが、只見では仕事と育児を頑張るお父さんを「リョウメン」と呼び、それを目指して頑張りましょう」と、エールを送りました。運動会では、幼児達の運動能力と「見る・感じる」ことで養えるコミュニケーション能力の向上を目指し、パパ・ママと一緒に幼児達は、元気に体を動かしました。親子の触れ合いを大切に競技に参加者からは「親子で楽しめた」などという感想が聞こえました。

## 坂田の集落交流

### 「さかた夢楽 さなぶり祭」で豊作祈願!!

6月5日、坂田生活改善センター裏を会場に坂田集落の豊作祈願「さかた夢楽さなぶり祭」が行われました。

会場には子どもから大人まで多くの方が集まり、餅や焼き鳥などを振る舞い、踊りやカラオケ、坂田早乙女踊りなどを披露し地域の交流を深め豊作を祈願しました。



▲ブナりん体操を披露する子ども達

## 朝日・明和地区の自然を歩いて体感 「ウォーキングイベント」で 地域交流!!

6月5日、朝日地区と明和地区において地域の景色と自然が楽しめる「ウォーキングイベント」がそれぞれ開催されました。朝日地区地域づくり委員会主催の「さなぶり健康ウォーキング」は約100名の参加があり、季の郷湯ら里を起点に亀岡地区4.5kmを巡るコースで行われ、ゴール後には豚汁を食べて交流を深めました。

また、明和自治振興会主催の「第6回明和ふるさとウォーキング」は63名の参加があり、二軒在家地区を巡るコースで行われ、ゴール後にはマトン焼きの昼食を食べました。両イベントともに、子どもから大人まで只見の自然と食を満喫し交流を図りました。



▲朝日:「湯ら里」前園庭で集合写真



▲明和:二軒在家「熊野神社」前で集合写真



## 雪むろ貯蔵の美味しさを体感 第2回「只見雪むろまつり」開催!!

只見雪むろ実行委員会主催の「第2回 只見雪むろまつり」が6月19日、JR只見駅前広場を会場に行われ、約600人の来場者がありました。オープニングで目黒町長は「6月は雪むろまつりなど毎週イベントが行われ、町の観光振興に繋がり嬉しく思う」と挨拶しました。会場では3ヶ月間雪むろの中で貯蔵した野菜・味噌・米・酒などを来場者に振る舞うと「野菜が甘くなっている」、「お酒に深みがある」など好評でした。ステージイベントでは、雪むろ米を使った餅つきや、「あつけらかん」のマジックショー、中・高校生などのライブなど多彩な催しがあり、広場では三条凧協会の皆さんによる凧上げが今年も行われ子ども達に人気でした。当日JR只見線小出～只見間でもイベント列車「山菜満喫号」が走っており、約60名の乗車がありました。また、代行バスでも雪むろまつりに合わせたツアーが企画され、75名の乗車がありました。今後、雪むろに貯蔵された雪むろ酒は、町内のお酒販売所で販売され、雪むろ米は米屋商店などで販売されます。

## 「只見バレーボールクラブ」「只見剣道スポーツ少年団」 県大会出場!!

6月4～5日に開催された「ファミリーマートカップ第36回全日本バレーボール小学生大会会津地区大会女子予選リーグ」において、只見バレーボールクラブが準優勝を果たし、県大会出場を決めました。県大会は6月25日(土)、26日(日)福島市国体記念体育館をメイン会場として行われ、結果惜しくも一回戦敗退となりましたが、次に繋がる良い経験になりました。

また、6月11日に南会津町伊南武道館で行われた、第69回福島県総合体育大会スポーツ少年団剣道競技南会津大会では、只見剣道スポーツ少年団が見事団体戦で優勝しました。只見剣道スポーツ少年団は、8月7日に郡山市で開催される第69回福島県総合体育大会「スポーツ少年団体育大会」剣道競技に出場します。



▲優勝と準優勝おめでとうございます!!

## 広報たぐみ診療所

朝日診療所

所長 若山 隆



### 「乳がんの予防について」

最近、有名人の方が乳がんにかかって話題になっていましたね。今回は乳がんの予防についてお伝えしたいと思います。女性の癌の罹患数(1年間に癌と診断された人数)で乳がんは一位になっており、年間およそ53,000人が乳がんとして診断されています。しかも年々増加傾向にあります。女性に多い他の癌である大腸がん、肺がんや胃がんに比べて、比較的若い年齢(40～50代)に見られるのが特徴で、30歳から64歳までの働き盛りの女性のがんによる死因の一位が乳がんです。

非常に多い乳がんですが、検診で予防が可能です。厚生労働省は40歳以上の女性にマンモグラフィーによる乳がん検診(2年に1回)を勧めています。マンモグラフィーとは乳房を圧迫してレントゲン撮影する検査で、触ってもわからない早期の癌の発見が可能になり、早期に見つけることで乳房を温存する手術などで癌が治療できるようになります。マンモグラフィーは特に乳房の大きな方で癌が見にくくなる場合もあるので、医師による触診が併

用されます。その他、超音波検査で乳がんの検査を行う場合もあります。

しかし、40歳より前に乳がんにかかる方もおられます。乳がんは遺伝の関与が強いといわれており、血縁者に乳がんがおられる方は要注意です。とくに父方・母方問わず血縁者に2人の乳がんの方がおられる場合や、血縁者に一人でも45歳以前に乳がんになった方がいる、もしくは悪性度の高い乳がんになった方がいる場合は、30歳代から婦人科で乳がん検診を相談するほうが良いと思います。アメリカの女優のアンジェリーナ・ジョリーさんは遺伝子検査により将来乳がんになる可能性が非常に高いと判断され、乳がんになる前に乳房切除術を受けたことで話題になりました。

日本はまだまだ乳がん検診の受診率が低い(20%程度)とされており、もっと多くの方に乳がん検診を受けていただきたいと思います。

## 地域おこし協力隊として vol.20

空き家活用促進隊

大竹 康平



### 「空き家を調べています」

初めまして、只見町地域おこし協力隊、大竹康平です。4月に小林に引っ越してきました。空き家を借りて1人暮らしをしながら、明和振興センターに勤めています。業務内容としては主に「空き家の利活用」についてです。

全国に800万軒以上の空き家がある中で、只見町も例外ではありません。町全体に200軒以上の空き家があります。そんな空き家を、「地域の資源」として利活用していこうという方針です。

今、「只見町空き家バンク」の設立を目指しています。空き家バンクというのは、空き家の情報をイン

ターネット上に公開して、売りたい・貸したい人と、買いたい・借りたい人とをマッチングさせる仕組みです。全国的にも、徐々に普及しつつあります。「只見に住みたい」けど、「住居がない」という悩みを抱える人が町内外には大勢いるため、空き家バンクが、地域活性化として有効に機能することを期待しています。

現在は、今年度の空き家バンク設立を目標に、空き家持ち主の意向など、詳細調査を進めているところです。調査にご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

# 町史

とっておきの話

264

福島県中世史研究会

柳内 壽彦

## 同時代史料が語る只見の歴史③

『塔寺八幡宮長帳』と山内氏 — 山内氏の初見史料 —

『塔寺八幡宮長帳』とは

会津坂下町塔寺の心清水八幡神社に伝わる年日記で、現存するのは貞和六年（一三五〇年）から寛永十二年（一六三五年）までの二八六年間にわたります。総紙数一九七枚、全長約一二〇mもあるので長帳と呼ばれています。この年日記の裏書には、会津やその周辺の年々の出来事を記しており、南北朝期から江戸初期にかけての同時代史料です。

『塔寺八幡宮長帳』享徳二年（二四五三年）条

— 山内氏の初見史料 —

山内氏の初見史料は、『塔寺八幡



▲「こはやしの城」（現小林館）跡



▲明和橋から「こはやしの城」跡をのぞむ（↓が城跡）

宮長帳』裏書の享徳二年（一四五三年）八月二十八日の記事です。この記事は文章に欠損がありますが、その部分を抽出しますと、「同廿八日□あうちいりこはやしの城をとされ候、山内のいちそくみなを「一族」に続くところに欠損があるため、山内の一族以下の文章の意味は難解です。九月十七日に浜崎館（湯川村）に入りましたが、白川氏・小峯氏が浜崎館を攻めたため、二十五日に典厩は自害しました。典厩が誰かは特定できていませんが、かなりの実力をもった人物とみられています。享徳二年の内乱は蘆名氏の跡継ぎをめぐる蘆名盛詮と典厩の争いと考えられています。

史料からは室町時代の一五世紀中頃に山内氏が実在したというところしかわからないのです。

『塔寺八幡宮長帳』長禄三年（二四五九年）条

— 山内越中 —

享徳二年から六年後の長禄三年（二四五九年）、『塔寺八幡宮長帳』裏書の長禄三年条の八月二十四日、十二月十日・十二日などに山内越

中なる人物に関する記事があります。山内越中については、その名字から大沼郡の横田の山内氏一族と思われる。十二月十日・十一日については、「同年山内越中殿、御屋形さまの御意にちかわれ候て、十二月十日二越中在所へよせられ候、我所をはとられ、中野城へいられ候、御屋形さま御具足をめし、法花堂二御陣をめされ、総勢城を三系にまき候、あくる十一日二要害をち候て、越中殿父子三人生害被致候」と記述されています。記事の内容は、長禄三年山内越中は御屋形様（蘆名盛詮）の御意に違ったため、十二月十日に在所を攻められて中野城（会津若松市）に入りました。盛詮は自ら具足をつけて法花堂に陣を張り城を三重に取り囲んだので、翌十一日に城が落ち越中親子三人が自害しましたという事です。

山内越中は黒川（会津若松市）に住み、蘆名盛詮の従属下にあっただと思われま。

山内氏と伊北郷

中世の伊北郷（現在の只見町）は、



▲『図書』より小林城跡

山内氏により支配されていたとされてきました。このもとなつたのは江戸時代の文化五年（一八〇八年）に編さんされた『新編会津風土記』の大沼郡大塩組横田村の項の記述などです。そこには山内氏は経俊が文治五年（一一八九年）奥州合戦の軍功により源頼朝から会津郡伊北郷と大沼郡金山谷の地を賜り、子孫は大沼郡横田を本拠としたと書かれています。しかし、これを裏付ける鎌倉時代の同時代史料はなく、山内氏は室町時代の同時代史料である『塔寺八幡宮長帳』からも断片的なことしかわかりません。山内氏については不明なことが多いのです。



# 町民文芸

## 只見短歌会

五月詠草

大塚栄一

指導

田植を終へ一斉に蛙鳴く夕べ夫はテレビの音を高くす

古川 英子

節句には菖蒲や蓬軒に差し風呂に入れたる習はし廃る

渡部ゆき子

集落の民泊に來し学童の肉焼く匂ひ風にのりくる

馬場 八智

今年また赤翡翠の声を聞く移らふ時の区切りのやうに

小倉キミ子

縫ひぐるみ抱きその父に甘えみし母入院の孫は寝入りぬ

新国由紀子

鷺三羽飛びゆきし後抜かれたる苗代目立ち風に吹かるる

関谷登美子

野菜畑の草を素手にて取りし指頁めくるに感触うすし

目黒 富子

夏冬の衣類の整理に時かけて取り組みをれどいまだ進まず

渡部ヨリ子

「道ありき」読み終へ見上ぐ出窓より物語りめく月が耀ふ

新国 洋子

(出詠順)

## 只見俳句会

六月例会

目黒十一

指導

フェルメール青目のあたり聖五月  
雨晴れて不意の高さの朴の花

順子

眠られぬ蛙の合唱夜もすがら  
新緑に汽笛響かせ只見線

信

深緑や村の旅行の顔と顔  
夏めくや神社の木陰抹茶飲む

修一

自転車はそのまま倒し春嵐  
花曇りランドセル背にピアノ弾く

都

食卓は夏の緑で賑いり  
梅雨が来て漸く野菜伸びにけり

一穂

空家にも帰郷知らせる燕かな  
雷鳴や大雨呼んで畑潤む

味代子

只見湖に麦の秋風波しずか  
園児らの雀がぐれに戯れり

吉児

風のごとく一人神楽の来る五月  
雪溪を水面に田子倉湖の五月

礼

# 今月のお知らせ

## 電話番号

総合政策課 地域振興係 財政係	☎ 82-5220
総務課 総務係 職員係	☎ 82-5210
町民生活課 税務係 係 町民係	☎ 82-5110 ☎ 82-5100
保健福祉課 保健係 係 福祉係	☎ 84-7005 ☎ 84-7010
農林振興課 農政係 林政係	☎ 82-5230
観光工商課 観光係 商工係	☎ 82-5240
環境整備課 地域整備係	☎ 82-5270
生活環境係	☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎ 84-2221 ☎ 84-2612
訪問看護ステーション	☎ 84-2130
こぶし苑	☎ 84-2101
只見振興センター	☎ 82-2141
朝日振興センター	☎ 84-2111
明和振興センター	☎ 86-2111

## 税 今月の納期

7月25日までに  
納めましょう

- 固定資産税(2期)
- 国民健康保険税(1期)
- 農集排使用料(7月分)
- 介護保険料(1期)

## 試験

平成29年度只見町職員  
(高校卒程度・一般事務職)  
採用候補者試験

只見町職員採用候補者試験を次のとおり行います。

● 試験職種・採用予定人員

一般事務職	若干名
-------	-----

● 受験資格(学歴不問)

昭和56年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

● 試験の方法

- ① 第1次試験  
教養試験及び一般性格診断検査  
職場適応性検査。
- ② 第2次試験  
(1次試験合格者に対して)  
小論文、面接による試験。

● 試験の日時・会場

【第1次試験】  
9月18日(日)午前9時受付

【会場】

福島県立田島高等学校  
(南会津町田島字田部原260)

● 受験手続き

① 申込用紙の請求

申込用紙は役場総務課及び朝日、明和振興センターで交付します。(郵送による場合は、120円切手を貼った自分宛返信用封筒角2号を添付すること。)

② 申込方法

申込用紙は役場総務課に持参又は郵送により提出する。(いずれの場合も82円切手を貼った自分宛の返信封筒を添付すること。)

● 受付期間

平成28年7月1日から8月12日まで。(郵送による場合は、8月10日までの消印のあるものに限る。)

▼ 問い合わせ先

役場 総務課 職員係  
☎ 0241(82)5210

南会津地方広域市町村圏組合  
職員採用候補者試験(高卒程度)

南会津地方広域市町村圏組合  
職員採用候補者試験(高校卒程度)を次のとおり行います。

● 試験職種・採用予定人数

行政職員	若干名
消防職員	若干名

● 受験資格

① 平成元年4月2日〜平成11年4月1日までに生まれた者(学歴は問いません)。

② 普通自動車運転免許(消防職員はAT限定免許を除く)の取得者又は取得見込者。

③ 日本国籍を有する者

④ 地方公務員法第16条(欠格条項)に該当しない者

● 試験の方法

- ① 第1次試験  
教養試験及び適正検査
- ② 第2次試験(1次試験合格者)  
ア)個別面接及び作文試験  
イ)体力測定(消防のみ)  
ウ)身体検査

● 試験の日時・会場

【第1次試験】  
9月18日(日)午前9時受付

【会場】

福島県立田島高等学校  
(南会津町田島字田部原260)

● 受験手続き

申込み用紙は、南会津地方広域市町村圏組合事務局、消防本部・本署、消防署各出張所・分遣所で交付します。必要事項を記入の上、事務局まで提出して下さい。

● 受付期間

7月13日〜8月12日まで(勤務時間中に限ります)。郵送の場合も8月12日必着です。

▼ 問い合わせ先

南会津地方環境衛生組合採用候補者試験(高卒程度)  
町村圏組合事務局まで  
☎ 0241(62)0054

南会津地方環境衛生組合採用候補者試験(高卒程度)

南会津地方環境衛生組合職員採用候補者試験(高校卒程度)を次のとおり行います。

● 試験職種・採用予定人数

技能労務職	若干名
-------	-----

● 受験資格

① 昭和56年4月2日〜平成11年4月1日までに生まれた者(学歴は問いません)。

③ 日本国籍を有する者

▼ 問い合わせ先

詳しくは、南会津地方環境衛生組合総務課まで  
☎ 0241(67)2480

● 受付期間

7月13日〜8月12日まで(勤務時間中に限ります)。郵送の場合も8月12日必着です。

● 試験の日時・会場

【第1次試験】  
9月18日(日)午前9時受付

【会場】

福島県立田島高等学校  
(南会津町田島字田部原260)

● 受験手続き

申込み用紙は、組合で交付しますので、必要事項を記入の上、提出して下さい。

【会場】

福島県立田島高等学校  
(南会津町田島字田部原260)

## 只見憧憬 「猪又かじ子」写真展開催

ふるさと交流都市「千葉県柏市」在住で、只見町ふるさと応援団の写真家「猪又かじ子」さんの写真展が、6月21日から只見考古館で開催しています。今回の写真展「只見憧憬」は、初めて来たのに懐かしい感覚にする只見の風景を、四季折々の写真を通してその魅力を紹介しています。

猪又さんは、只見町へ通い始めて1年が経ちます。初めて来たときにどこか懐かしい「日本のふるさと」に感じ、そして自然の匂いが好きと教えてくれました。これからも日本のふるさと只見町の「今」を、写真に残していきます。写真展は期間限定の開催となりますので、是非多くの方にご覧頂きたいと思っております。



—猪又かじ子写真展「只見憧憬」—  
期間／6月21日～7月23日  
時間／9時～16時  
場所／会津只見考古館ロビー  
※写真展のみの入館は無料です。

## 町長の手帳

### 町長スケジュール〈6月分〉

- 1日 奥会津5町村活性化協議会監査、会津若松市議会表敬訪問、只見高校振興対策会議役員会
- 2日 只見町農業再生協議会、東邦中学校農家民泊開村式
- 3日 南会津森林管理署長来庁、南会津地方広域市町村圏組合議会臨時会(南会津町)、南会津地方環境衛生組合議会臨時会(下郷町)
- 4日 ふるさと只見会懇談会
- 5日 蒲生岳開山式、たぐみ豪雪林業体験・観察の森整備事業交流会
- 6日 議案検討庁議
- 7日 只見川ライン観光協会総会、奥会津5町村活性化協議会総会、只見川電流域振興協議会総会(昭和村)
- 8日 南会津地方植樹祭(南会津町)、一般質問検討庁議、消防操法南会津大会選手激励
- 10日 福島県森林・林業・緑化協会役員会・通常総会(福島市)、只見高校振興対策会議総会
- 11日 只見線縁結びイベント、小熊慎司衆議院議員国政報告会
- 12日 会津朝日岳開山式
- 13日 只見町議会6月会議(～17日)、地域おこし協力隊辞令交付、東北財務局・林野庁来庁
- 17日 地域おこし協力隊勉強会・歓迎会
- 18日 第3回只見線復興推進会議検討会(会津若松市)
- 19日 只見雪むろまつり
- 20日 只見町交通安全対策協議会総会
- 22日 南会津郡町村長視察研修(～24日)
- 26日 浅草岳開山式、JR東労組東京地方本部定期大会(郡山市)
- 27日 虫歯のない子表彰報告、ユネスコエコパーク推進協議会、只見町職員互助会理事会、
- 29日 只見振興センター新築工事安全祈願祭、只見町議会全員協議会
- 30日 野岩鉄道社長来庁、ブナセンター運営委員会、ふるさと只見人材育成講座開講式、林明輝氏来庁

### 「丹羽族を思う」

21世紀の幕明けは、立場の違いを越えて「共存、共栄、共生」の社会実現にむけて、世界各国が平和を取り合う世紀のはずだったが、現実はその行っていない。アメリカでは世界を牽引してきた矜持を捨ててを厭わなくなってきた。中国は一人坦々と膨張主義を展開している。アラブ・中東の民主化は、今や戦争とさえ言える内乱状態により、生活の場を失った難民が生命をかけて国境を越える。その難民を受ける欧州連合(EU)の国々も大変だ。イギリスはとうとうEUから離脱することになった。経済的グローバル化の進展は、政治的・社会的状況において内むきになりつつあるようだ。日本はと言えば参院選の混中、やはり大事な論点をそらし内むきな論争がなされているのではないか。

難民受け入れの欧州の状況を思うとき、只見では150年前八十里越峠を敗走する河井継之助一行を迎えるにあたり、食糧調達に村を走り廻った食糧奉行「丹羽族」のことを思う。当時小さな寒村の只見の地において、食糧供出に応えることは並大抵のことではなかった。食糧調達がままならない丹羽族は少しばかりの酒で部下の労をねぎらい、一人責任をとって腹を切った。その後は食糧供出が進むようになったと云うが、族のような人がこの地にいたことを誇りに思う。思わぬことに遭遇したとき、人の真価が問われる。そのような時に、自分が如何なる行動をとれるか。その答えは出せないが、律義と覚悟を決めた丹羽族の生き方を心に強く刻み込みたいと思う。

只見町長 目黒 吉久



# 町民の消息

(5月26日～6月25日届出分) 敬称略

## ■お誕生おめでとうございます

赤塚 壮志 (男/友紀・薫) 只見

## ■ご結婚おめでとうございます

会津坂下町 蓮沼 寿和♡渡部 瑠華 福井

## ■おくやみ申し上げます

五十嵐ナツミ	82歳	福井
稲田 順子	53歳	長浜
山中 仁	84歳	小川
渡部ウラコ	85歳	小川

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

平成28年6月1日現在

人口	4,413 (± 0)
男	2,160 (- 1)
女	2,253 (+ 1)
世帯数	1,814 (+ 5)
高齢化率	44.82%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 9 転出 5 出生 1 死亡 5

## あとがき

▽6月は、「六角精児バンド只見線縁結びライブ」や、只見線山菜満喫号の特別列車と同日開催「雪むろまつり」など、只見線を活性化させるイベントが行われ、只見線を利用して多くの方が只見町へお越し頂きました。その只見線について先日新聞では、豪雨で被災した只見線「只見駅～会津川口」の不通過区間について、JR東日本から「上下分離方式」による復旧案が示されたこととニュースになっていました。内容は赤字路線だからこそその内容でしたが、私達にできることは前記のようなイベントを行い、只見線の利用を促進することだと思います。

(三瓶)

## 町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

朝日振興センター  
山田千春

朝日振興センター  
図書室 ☎84-2111

# おすすめ新着図書

## ★羊と鋼の森



宮下奈都/著

言葉で伝えきれないなら、音で表せるようになればいい。ピアノの調律に魅せられた一人の青年。彼が調律師として、人として成長する姿を温かく静謐な筆致で綴った、祝福に満ちた長編小説。2016本屋大賞受賞作品です。

## ★ママがおばけになっちゃった!



のぶみ/著

ママは、くるまにぶつかって、おばけになりました。おっちょこちょいのママだけど、むすこのかんたろうが、なによりも大切。いいところも、ダメなところも、かぞえきれないくらいの「すき」でいっぱい。クスリと笑って、ホロッと涙して…対話を通じて、親から子へ、子から親へ、心を伝える絵本です。

## ★ワンダーWonder



R・J・パラシオ/著 中井はるの/翻訳

オーガストはふつうの男の子。ただし、「顔以外」は。生まれつき顔に障害があるオーガストは、10歳ではじめて学校に通うことになった。生徒達はオーガストを見て、悲鳴をあげ、じろじろながめる。けれど、いつしか心を通わせていく感動のベストセラーです。

2016小学校高学年の課題図書にもなっています。

★朝日振興センターではリクエストを随時受付しています。読んでみたい本があればぜひ、リクエストしてください。

★朝日振興センターでは、今年の夏休みの課題図書を入荷予定です。

## モウセンゴケ

(学名: *Drosera rotundifolia*)

[モウセンゴケ科 モウセンゴケ属]



▲群生するモウセンゴケ



▲モウセンゴケの花

モウセンゴケは、山地から亜高山にかけての、日当たりの良い酸性土壌の湿地に生える多年草です。コケと名がつきますが、コケの仲間ではなく被子植物であり、白い小さな花も咲かせます。只見町では、浅草岳の雪田草原や、溪流沿いの岩の隙間や湿地などで見ることができます。

モウセンゴケの名は、ミズゴケ上に群生するさまを毛氈(もうせん：獣毛等をフェルト状にした敷物)に見立てて名付けられたものと言われています。

葉の先で朝露のように輝いているのは、モウセンゴケの腺毛から分泌された粘液です。これは甘い匂いを発し、その匂いに虫たちは誘われ、葉の上に飛来します。粘液に捕まり、虫がもがくと、その刺激で葉はゆっくりと閉じ始め、それと同時に消化酵素が分泌されます。約24時間ほどで消化は完了し、再び葉は開き、次の獲物を待ち受けます。

モウセンゴケは食虫植物であり、恐ろしいイメージが先行しますが、英語ではSundew(太陽の露)という名を持ち、実際、キラキラとして、とても綺麗な植物です。

可憐な姿ながら、栄養の乏しい場所で食虫という特殊な戦略で逞しく生きるモウセンゴケを探してみてください。可愛らしい花を咲かせている「太陽の露」に出会うことが出来るかもしれません。

### 特別企画展示

「只見の昆虫たちー只見自然環境基礎調査の報告」

期 間：7月16日～10月10日

場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム(只見町ブナセンター)特別展示室

### ブナセンター講座

「只見地域で見られたカミキリムシ類とその生態」

日 時：7月30日(土) 13:30～15:30

場 所：ただみブナと川のミュージアム(只見町ブナセンター)セミナー室

講 師：榎原寛氏(森林総合研究所)

参加費：入館料のみ

### 自然観察会

「昆虫採取と観察会」

日 時：7月31日(日) 9:00～12:00

場所：梁取ただみ観察の森(学びの森)

※参加には事前申し込みが必要です

問い合わせ先：只見町ブナセンター 電話0241-72-8355

詳しくは、  
只見町ブナセンター  
までお問い合わせ  
ください